Product Liability NEWS

jtdna 検索

初刊

10.Oct.2013

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-5 パークスビル 2F
☎03-5875-6175　FAX：03-5875-6176
✉c-japan@jtdna.or.jp

■ニュース発行について■

最新の PL 対策を広く普及啓発、誤使用を含め、製品起因の事故を予防することがこの NPO に課せられた使命です。任意団体が平成14年に設立され、それから11年が過ぎ、この協会の教育プログラムは「PL 検定」となり、今では web でいつでもどこからでも受験することができます。そしてこれまでこの協会を通し PL 対策を学ばれた方が大企業から中小企業、各自の仕事や生活の中でその知識を利用されています。

非対面で商品を販売する通販現場では、既にこの協会の PL 対策が、クレームや返品を減少させ、事故の場合も早期解決に効果を挙げていることが報告されています。また、印刷業界や流通関係団体、日本を代表する大手小売り、大手家電量販店などもこの協会の取組みに大きな期待を寄せていただいています。

これまで、セミナーやシンポジウム、メールマガジン、専用 SNS などで活動を報告していましたが、各地から「もっと具体的に活動内容を知りたい」との要望があり、このたび、理事会にて会報の発行（偶数月と臨時号）を決定しました。

初刊発行にあたり、この協会の活動がより広く多くの企業、団体などにご理解いただけますよう、ご支援をお願い申し上げます。

理事長　渡辺吉明

PL 対策ワンポイントアドバイス

PL 対策を理解するには、まず、国やその下部組織の業界団体が、法律や基準で定めた最低限の決まり事である「PS」、例えば PSE、SG、PSC などと、民間の自主努力である「PL」の違いと市場への影響を理解することです。国の基準は最低限の決めごと、PL 対策は「販売後の事業者の消費者への責任」です。消費者基本法第5条を良く読んでください。それが入口です。

■事務局便り■

こんにちは。JTDNA 事務局の秦優子です。全国の会員の皆様には日ごろからご尽力いただきありがとうございます。事務局では、会員手続きや書籍の発送、セミナーや情報交換会などの準備などを行っています。そういう業務を行っていく中で最も嬉しいことは、会員さんの成長です。PL 検定を受けられて製品安全に関しての知識を積み上げられ、その 1 年後には JTDNA の情報交換会やセミナーなどで講師役となり参加者の前で話をするまでになられます。その間にはご自身が努力されていることはもちろんですが、きっかけは何であれ、わたくし共と関わり1つの成果を出されたことに喜びを感じる次第です。協会のことでわからないことなど、遠慮なくお問い合わせください。（事務局長　秦　優子）

INDEX

JTDNA®
PLnews
2013 年 10 月号

■株式会社友和 QC 会議開催■

一昨年から当協会の PL 対策について導入を検討している株式会社友和（東京都中野区）で、9月26日、国立オリンピック記念館（代々木）会議室にて、ベンダー130社が参加し「QC 会議」を開催しました。午後からの特別講演で、イトーヨーカ堂 QC 室衣料・住居担当総括マネージャー 北原氏より、2011 年の製品安全対策優良企業大企業小売販売事業者部門で大臣賞を獲得したこと、その取組みの事例、また、最近のトラブル事例として、異物混入、誇大広告などの報告がなされました。

北原様の講演に引き続き、当協会理事長 渡辺吉明より、「流通小売り事業者製品安全対策」として、最新の PL 対策について講演をいたしました。

当日使用 PDF

当初予定100社を大幅に越えた130社が参加しました。

JTDNA 理事長講話

イトーヨーカ堂北原様講話

当協会の取り組みについて北原様も大変興味をもたれ、今後、雑貨量販店への活用をお勧めしました。今後、（株）友和様でも担当者の PL 検定受験の準備をすすめています。

■自動認識総合展に展示公開■

バーコード、電子タグ、ICカードなど、我々の生活に密接に関わる自動認識技術の展示会、第 13 回自動認識展が、9 月 25 日より 27 日まで東京ビッグサイトで開催されました。JANコードを所管する（一財）流通システム開発センターのブースには、当協会認定事業者が取り組む JAN コードとQRコードを組み合わせて利用するリコール対策の取り組みを、見本品（トイレ用PTCヒーター）とそのトリセツで展示しました。この取り組みは、実験段階ですが、同センターの機関紙「流開センターニュース９月号」において見開き記事で、詳しく紹介されております。

今回の取り組みでは、QRコードに URL と JAN コードを表示させ、携帯電話から製品本体にある「QRコード」を読み取り、携帯電話に「トリセツ」を表示させるものです。将来、GS1 標準に準拠したGS1QRコードが普及すると、ロット番号単位で異なる情報の表示も可能となります。同センターでは、このような様々なデータをバーコードに表示できるAIと呼ばれるデータ識別子の普及も推進しています。

（財）流通システム開発センター国際部
主任研究員　市原栄樹様

また、トリセツに表示したQRコードを利用して、製品の利用者登録も可能になります。利用者に最新のトリセツ情報の提供や、製品寿命の到来を予告する通知を携帯電話にメールで通知することもできます。

以上のようなQRコードと携帯電話の組み合わせによって、利用者がより身近にトリセツを利用できる環境が整うことが期待されます。

※[流開センターニュース 9 月号] は、協会の本部、イベント（セミナー、専門講習、情報交換会など）で配布しています。

各地からの報告

■中越（三条市、燕市）■

新潟三条市および燕市の賛助会員を中心に、9月から 11 月まで3回にわたるセミナー、専門講習を行っています。賛助会員以外の事業者も参加され、日ごろのお客様からの質問などへの対応に苦慮されているとお聞きしました。また賛助会員（株）カクセーでは、取説の改善を含めたPL対策勉強会を行っており、PL検定も積極的に受験しています。優秀な地場産業が多い地域ですので、当協会としてこれからも積極的な支援をさせていただきます。（地域担当理事　中澤幸雄）

■西日本■

西日本地域では、10 月17日に「情報交換会」を開催します。詳しくは当協会公式サイトの新着情報から確認できます。当初シンポジウムを予定していましたが、中小零細の事業者様では、平日日中に実務に直接反映できない内容では社員を参加させる余裕がない、などの意見が多く、今回からより実務に反映できる情報共有の場として、「情報交換会」としました。今回は特別講演に、消費者安全で世界的に活躍されているタン・ミッシェル教授、後半は家電量販店エディオンの品質管理担当田治賢吉様と当協会の渡辺理事長の対談式意見交換があります。日時、場所、申し込みについては4ページ「イベント情報」をご参照ください。関西では、賛助会員でのトリセツ品質改善の取組み、賛助会員を検討中のメーカーでの全社員 PL 検定受験などが進んでいます。（担当理事　田上哲也）

行政・業界情報

ここが我々JTDNAと関係の深い消費者庁です。このビルの下に南北線の溜池山王駅があり、池袋の協会本部から約30分、極めて便利な場所です。消費者庁の入り口はガラス張りですが、セキュリティが設けられしっかりとガードされています。いつも訪問する先は、消費者安全課と事故調査室で定期的に情報交換を行っています。シンポジウムやセミナーの後援をお願いするのは「消費者安全課」で、現在は、リコール案件の対応に忙しく、週に10～30件の案件が発生しているとのことです。

QRコードを利用したエンドユーザーを特定するシステム（認定事業者と賛助会員事業者との試験運用）について、大変興味を持っていただきました。（渡辺欣洋）

6F に消費者庁と消費者委員会の入口があります。

総理府官邸のすぐ下の民間テナントビルにあります。

PL 検定事務局より

2013年7月より、「PL検定」はweb上で「いつでも、どこからでも」受験できるようになりました。ぜひ受験し、一緒に「PL 対策」を学んでいきましょう。Facebook「PL-kentei」で、私が解説しています。検索してみてください。

「PL 対策」と言うと、「製造（販売）事業者を対象としたもの」と解釈されがちですが、今では全ての事業者に深く関わっています。毎回、検定の出題例をお届けします。協会のガイドライン、解説書を良く読んで考えてみましょう。

（PL 検定事務局長　田邉俊一郎）

【例題】

「誤使用」による事故は「使用者の誤った使い方」に起因するので、製品を製造・販売した事業者に責任は発生しない。【解答 :×】

【解説】

現在は、誤使用による事故やトラブルは、「事業者が説明責任を達成していない」として事業者責任を問われます。通販などの非対面販売などでは、この説明手段は取扱説明書などしかありません。だからこそ、「消費者視点でわかりやすい取扱説明書」が重視され、その完成度を客観的に評価する必要があります。

JTDNA®
PLnews
2013 年 10 月号

■JTDNA の消費者教育■

仙台の東北工業大学ライフデザイン学部・安全安心生活デザイン学科の 2 年生 53 名が、9 月 27 日今期 2 回目の「PL 対策」の講義を受講しました。今年で 4 年目です。この講義は、2 年生の就職活動支援として、実際の現場で活躍されている方を講師に迎えて社会の動きをお話しいただいており、他のテーマも含め年間 4 回行っています。受講生たちは、「将来、製造の仕事につくことが希望なので、今日聞いたことを活かしていきたい」と、感想をレポートしています。

今年の PL 検定（3 級）は、11 月 2 日に実施され、合格した学生は正規の 2 単位を取得できます。また本年 6 月、学長と当協会理事長の対談が実現し、来年 11 月同大でのシンポジウム開催が決定しました。
（東日本担当理事　山岸義彦）

Q&A　メリットについてのご質問

Q：賛助会員になるメリットは何ですか？

A：PL 対策は、経営者、社員、取引先、保険代理店、保険会社、ICT 関係者など、多くの方、事業者などとともに取り組まないと、効果を挙げられません。カネボウ化粧品、TDK など、そうそうたる企業が初期対応で失敗する最大の理由は、企業内の不作為や責任転嫁、リスク見積もりの誤りなどです。この協会の賛助会員になる最大のメリットは、会社が明確に製品安全に取り組むという意思表示のコンセンサスの証です。賛助会員や会員と情報共有し、多くの成功事例を積み上げています。

Q：PL 検定を受けるとどういうメリットがありますか？

A：国（経済産業省）の取り組んでいる「PS」は法律や基準であり、重大な人身事故があると、法律違反などをもって指導を行います。主に設計製造する過程の内容で、販売後のこと（PL）ではありません。この検定が PL の知識を客観的に確認し証明できる唯一の手段です。

Q：認定事業者になるとどういうメリットがありますか？

A：協会では公平性、公益性を維持する為に、特定の事業者の事業に直接関わることはできません。それらのご要望にお応えする為に、この協会では、認定員委員会（第三者機関）にて、事業環境や協会の求める評価検証のできる賛助会員を「認定事業者」として承認し、下記の業務を委託しています。

①取扱説明書や広告物の具体的な検証、アドバイス
②それらの見直しや制作などの対応
③証明印発行手続き
④事故調査などの対応など

Q：事故相談などはできるのでしょうか？

A：協会本部（東京池袋）にて対応しています。事務局経由で相談日時を確認してください。

●次回は PL 対策についての Q&A です。

イベント情報

情報交換会（大阪）開催日時：10 月17日（木）

●時間　13:00～17:00（開場 12:45）
●会場：メビック扇町（関西テレビビル）3F
●費用：無料
●申し込み＞＞ http://goo.gl/EwIxkn

セミナー・専門講習（三条市）開催日時：11 月13 日（水）

●時間：13:30～16:30（受付開始 13:00）
●会場：三条商工会議所4F
●費用：セミナー無料、専門講習（有料）
●申し込み＞＞ http://goo.gl/EwIxkn

情報交換会（東京） ※詳細決定次第 HP、メルマガにてご案内します。

●開催日時：11 月 22 日（金）時間　13:00～16:30
●会場：確定次第 HP で公開
●費用：（有料）

本紙に対するご意見、ご要望、お問い合わせは：

特定非営利活動法人 日本テクニカルデザイナーズ協会
【事務局】
〒171-0021 東京都豊島区西池袋３２２５パークスビル２F
電話　03-5875-6175　FAX 03-5875-6176
eMail　c-japan@jtdna.or.jp